

ひとなる

白川を愛し、たくましく心のあったかい子を育む美濃白川

観えの場・芽生えを培う場・やすらぎの場・広がりの場



白川を愛し、たくましく、心あったかい子を育む白川町

旧年中は、町民の皆様は各園・学校での行事の支え、また、登下校時の見守りなど、多大なご支援とご協力を賜り、本当にありがとうございました。本年も、子どもたちの健やかな成長のために、教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。白川町教育委員会 教育長



今年12月20日(日)に「伝統音楽舞伎大公演」が開催されました。公演は、佐見小、佐見中、佐見高の児童生徒が中心となり、白川町の文化を伝えるべく、伝統音楽舞伎大公演を行いました。当日は、多くの観客が来場し、大盛況でした。また、佐見小、佐見中、佐見高の児童生徒は、伝統音楽舞伎大公演を通じて、伝統文化の大切さを学びました。

佐見歌舞伎に小学生も

今年12月20日(日)に「伝統音楽舞伎大公演」が開催されました。公演は、佐見小、佐見中、佐見高の児童生徒が中心となり、白川町の文化を伝えるべく、伝統音楽舞伎大公演を行いました。当日は、多くの観客が来場し、大盛況でした。また、佐見小、佐見中、佐見高の児童生徒は、伝統音楽舞伎大公演を通じて、伝統文化の大切さを学びました。

小規模校の部

第58回岐阜県学校歯科保健優良校

特選校：白川北小学校 (昨年文部大臣賞受賞)
優良校：白川小学校 (4年連続の受賞)

今や『お茶』『酒』『肉』だけでなく、『歯の白川』と言われるほどです。学校歯科医のご指導のもと学校で、家庭で、支えてもらい、子どもたちが健康でいる成果でもあります。

全国中学生リズムダンスふれあいコンクール東海大会

今年も全国大会の切符を手に入れました!

12月2日に今年で5回目を迎える『全国中学生リズムダンスふれあいコンクール東海大会』が名古屋のCBCホールにて行われました。白川中学校から3チームが参加し、過去最多の参加チームと観客の観客の前で、堂々と素晴らしい舞姿を披露しました。その中で1年生と2年生のチームが見事全国大会への切符を手に入れました。全国大会は12月27日に東京の赤坂ブリッツにて開催されます。全国のトップを目指し、思いっきり楽しんで競って下さい。



子どもたちの未来を考える

白川町の大きな問題となっている人口減少。子どもたちを取り巻く教育現場でも影響が大きくなっています。平成23年3月に白川町第5次総合計画が白川町議会において議決され、『本計画期間中は原則現体制を維持し、後半期には諸般情勢により、一部の学校の再編成について、検討に入る可能性は排除しない』と掲げられました。現在、後半期となり『子どもたちの将来を考えて』現状と今後の情勢を的確に把握・審議し、学校の再編成について進めていく時期となりました。

【資料】15年後の児童生徒数の推移

	白川中	白川小	藤原小	黒川小	合計	
平成28年度児童生徒数	53	40	113	62	38	306
平成33年度児童生徒数(推定)	46	26	91	54	26	243

左の表は、現在の町内5校の児童数と5年後の児童数の比較です。5年で約63人の児童が減ることになります。また、来年は町内3つの小学校で2つずつ複式学級が編成される現状です。今後、各学区に設置された学校運営協議会を中心として、町民の方々のご意見を集約しながら『子どもたちの将来について』考えていくこととなります。この『ひとなる』でも、話し合いの状況等について報告させていただきます。

家族で野菜を育ててみませんか!

白川町では、子どもの成長にとって食が非常に大切であることを認識し、平成12年度に白川町食に関する教育研究推進協議会を組織しました。「家族で野菜を育ててみませんか」の取組は平成15年度から始まりました。希望する家庭に野菜の種を配布し、家族で野菜を栽培することを通して思いやりや感謝の心を育み、家族の絆を深めることを目的にしています。



毎日水をやり、様子をみたり、大切に育てる姿を見て、とても感心しました。まだ挑戦させていただきます。【小学生の保護者より】



今年の不作の原因は、とが原因とのことでした。



本年度の収穫状況

誰と育てましたか?



おじいちゃんやおばあちゃんに、いっぱい助けられました。おじいちゃん、おばあちゃん、さすが!です。

最初は育てるのが難しそう、本当は育てて不安でした。芽が出たときは本当に嬉しくて、子どもと一緒に喜びました。近所の方に教えて頂きながら取り組みました。毎日大きくなって子どもの背丈を超える大きさになり収穫が楽しみでした。見た目もちゃんとトウモロコシで、甘くて美味しかったです。親子での良い体験ができました。【小学生の保護者より】

カラスに全部食べられた。くやしい! 【小学生より】

もぎたてを茹でて食べるのは、やっぱり美味しかったです。作る大変さは、スーパーで買うだけでは分からないので良い経験になりました。【小学生の保護者より】



育てる時や収穫の時はとても楽しそうでした。大きくなるのが嬉しかったみたいです。苦手な枝豆を育てたので、途中「食べれるかも!」と子どもが言った時は、親も祖母も嬉しく思いましたが、さあ食べる時になると、やはり無理でした。ですが、自分から「食べれるかも」と言う言葉が発せられたことに嬉しく思ったので、やっとなりました。【園児の保護者より】

小玉スイカを作ったのですが、動物に食べられ、食べることができません。芽が出た際も枯れてしまい全滅に。失敗に終わりました。ですが、なぜ失敗したのか、何がいけなかったのか家族で話し合い、来年も挑戦してみたいです。【小学生の保護者より】

野菜作を通して、野菜以外に得たものが…。来年是非チャレンジしてみてください!